

リラのいえ開設15周年記念号

会報スマイルオブキッズ通信30号発行にあたり

認定NPO法人スマイルオブキッズ 理事長 松尾忠雄

皆様の大きなお力添えにより、今年、スマイルオブキッズは法人設立20周年、患者・家族滞在施設「リラのいえ」は開設15周年を迎えることができました。リラのいえ開設以来、年2回発行している本会報誌は第30号となりました。これを記念号として、当法人のこれまでの軌跡を振り返り、今後の方向性についての特集をお届けします。

リラのいえは神奈川県立こども医療センターとの協働事業として2008年に開設しました。今日に至るまで、同センター関係者・施設利用者・支援者・行政関係者・メディア関係者など、多方面の方々のご理解とご支援により運営することができています。

この20年間、特に直近の5年間は世界的にも重大な事態が次々と起こり、世の中は急速に変化しました。当法人も少なからずその影響を受け、対応に苦慮してまいりました。中でも新型コロナウイルスの感染拡大では、同センターと共に深刻な影響を受けました。一方で、危機感を共有することにより「リラのいえ」

は同センターと一体となった施設であることを、スタッフ一同改めて強く認識する機会となりました。

また、組織運営上のオンライン化を進め、ボランティア活動の在り方を考える期間ともなりました。リラのいえの温かさを次世代に継承できる運営体制について話し合いを重ねた結果、10年先・15年先を見据えてボランティア活動をより積極的、安定的に進めていくために、あらたな有償職員の採用が決定しました。ハウスマネージャー・ボランティアコーディネーターを迎え、リラのいえ第一世代から第二世代へと移行してまいります。

私たちの活動は見返りを求めるものではありませんが、唯一望むことがあるとすれば、ボランティア活動の経験者が増えて、更に住み良い社会となることでしょうか。昨年12月今年2月に行なった、リラのいえ滞在利用者ときょうだい児保育利用者のアンケートでは、75%の方が、子どもの病状が落ち着けば何らかの活動をする意志があると回答されました。これは、私たちにとって何より

も喜ばしいことです。

こども家庭庁の始動により、病気や障害のある子どもと家族の支援を行政の施策として十分に実施していただくことに期待しています。私たち自身も引き続き、利用者さんを第一に考え、当法人の理念である「愛する子ども達のために」、率先して活動していく所存です。



リンパ管腫治療の両輪

リラのいえ15周年との事、おめでとうございます。私はリンパ管腫（リンパ管奇形）の治療に取り組んでいますが、光栄にも日本全国から患者様にお越し頂いており、リラのいえの存在には患者様ともども感謝の念に堪えません。

リンパ管腫は生まれつきリンパ液の溜まった「こぶ」ができる疾患です。首に生じる事が多く、重症なお子さんでは生まれた直後から気道が潰されて息ができない事があります。また、急に腫れあがる事もあるため、それまで元気だったお子さんが突然呼吸困難になる場合もあります。まだ確立した治療は無く、重症例では予防的に、または結果的に、気管切開が行われる事が少なくありません。このような患者様に、気管切開を回避しながら治療を行うのが私の取り組んでいる治療です。かつて当院で気管切開を阻止できなかった1歳の患者様がおられ、それを機に現在の治療を始めました。硬化療法を工夫したもので、気管への影響を最小限に抑えつつ病変縮小効果を期待します。少しずつ進歩しながら、幸いにもこれまで良好な結果を出せています。本治療の欠点は、治療を行い安全に帰宅するのに少し時間がかかる事です。重症な場合、数ヶ月以上入院治療が必要な場合もあります。

他院で治療が難しいと言われた。気管切開が必要と言われた。経過観察しかないと言われたが、経過中に腫れてしまい気管切開が必要になった。そんな患者様が遠くから相談にお越しになります。その時、『気管切開を回避できるかもしれない治療を提案できます。』とお話しするだけでは不十分で、上手く進む事ができません。治療を頑張る事になった場合、ご両親はお子様と共に頑張る必要があります。慣れない土地で長期間過ごさなければなりません。御兄弟もいるかもしれない。精神的にも金銭的にも大きな負担になることは想像に難くありません。その負担に対し『リラのいえという施設があります』と合わせてご提案できて初めて、遠くの患者様でも治療を頑張ってみようかと考えて下さるのだと思います。治療とリラのいえが両輪のように働き、話が進み始める瞬間です。

これからもリラのいえと共に、遠くの患者様でも当院で治療が受けられるように頑張っていきたいと考えています。遠方の患者様に『大変だったけど、頑張ってたよ良かった』と言って頂けるために、引き続きよろしくお願致します。

神奈川県立こども医療センター

外科 白井 秀仁



利用者の声

おかげさまで

清水 絢子さんより



妊娠6ヶ月頃、娘の右頸部にリンパ管腫の疑いありと診断されました。最悪、胎内で窒息する可能性があることを告げられ、ただ無事に生まれてきてほしいと祈り続けた妊娠期間でした。そして2022年12月に出産。娘が自然に呼吸し哺乳瓶でミルクを飲む姿を見てホッとしたのも束の間、1月に入り容態が悪化し人工呼吸器を挿管せざるをえなくなりました。入院していた宮城県の病院では気管切開を提示され、それが最善の手段だと信じ受け入れようとしたのですが、なかなか受け入れられず夫婦で毎晩涙を流しながら何とかできないか話し合ったことを今でも思い出します。

そんなとき神奈川県立こども医療センターHPの「リンパ管腫による気管切開をなんとか回避」という言葉を見つけ、藁にもすがる思いでオンライン面談をお願いし、ご対応いただいたのが白井先生でした。たんたんとしつつも的確かつ温かみのあるお話ぶりに心を打たれ、この方をお願いしたいと強く思いました。一方で治療期間が見えない中、滞在先をどうするかという問題が浮上したとき、白井先生から教えていただいたのがリラのいえでした。

恐る恐る電話をかけてみると、佐伯さんが自分の家族事のように親身に対応してくださり、安心して受け入れをお願いすることができました。私、夫、2歳の息子、そして母が入れ替わり立ち代わり滞在させていただく総力戦となりましたが、心身を充電できるリラのいえの存在が私たちを励まし勇気づけてくれました。

とくに私は精神状態が不安定で娘の病気に向き合いきれず、毎日涙を流していましたが、ボランティアの方が親身にお話を聞いてくださったり、他の利用者の方とお互いの状況をシェアできることで気持ちが整理され、前を向く元気が出ました。また息子はきょうだい児保育に楽しそうな様子で通うことができ、安心して娘の見舞いに行くことができました。

おかげさまで、娘は数回の処置を経る中で、まずは抜管、そして哺乳瓶による間接母乳、最終段階として直接母乳できるようになり、2023年4月に退院することができました。この娘の快復は白井先生はじめ医療センターの皆様、リラのいえの皆様、リラのいえを支援くださる皆様の存在あってのことです。本当にありがとうございます。今後は外観部分の治療のため定期通院させていただきますが、リラのいえには滞在するだけでなく、私たちのような状況にいるご家族を応援する立場としても関わり、この支え合いの輪を広げていきたいと思っています。

リラのいえとわたし

リラのいえについて語るとき、僕の場合はRUN for KIDSへの思いとかさなる。僕の手術した遠方の患者さん達がリラのいえでお世話になってきたことは以前から知っていた。最初からボランティアで運営されてこられた経緯など聞いて、素晴らしいなあと感じていた。でも自分の医療の領域にとらわれて、それ以上、リラのいえに踏み込むことはなかった。

そこをちょっと超えたのはRUN for KIDSプロジェクトをはじめから。若い頃からストレス解消に週末ジョギングする習慣があった。55歳で一生の思い出にと走ったサロマ湖100キロマラソン。70キロ以降のどうしようもない苦闘の最中、頭に浮かんだのは普段診療している子ども達の顔。走り終わってしばらくしてから思った。単に走るだけでなく病気の子ども達に役立てばいいなあ。

具体的に何をしたらいいのかわからなかった。でもRUN for KIDS・こどものために走りたい！をスローガンにこども医療センターで活動しはじめたら、すぐに佐伯さんをはじめとしてリラのいえの方々が共感してくださった。横浜マラソンにも応援に来ていただいた。

なんか距離がぐっと近づくのを感じた。

リラのいえの中を見させていただいたり、バザーにいったりした。RUN for KIDSのチャリティーシャツの売り上げの一部も寄付させていただいた。僕はもともとチャリティーや寄付などに積極的な人間ではなかった。でもみんながRUN for KIDSを応援してくれた気持ちは、同じ思い、病の子ども・家族への気持ちを持つ方々に贈りたかった。

ありがとうリラのいえ、頑張れリラのいえ。

神奈川県立こども医療センター
泌尿器科 山崎雄一郎



利用者の声

卒院に際して

東京都の花田さんより

「リラのいえ」を初めて訪れたのは2009年の春、2歳になった息子と父親とで神奈川県立こども医療センターを受診した後でした。胎児診断で重度の水腎症と分かり、2度の手術をしても尿路感染で入退院を繰り返した末の転院でした。土地勘のない場所で子どもの入院生活を支えていくのにワラにもすがら思いで訪れましたが、ボランティアさんから優しく迎えてもらい、お話すうちに不安な気持ちがほぐれました。開設から1年経たない時で、その時リラのいえがあって本当に幸運でした。

当時のメモを見返すと「…夜にリラのいえで佐伯さんやボラさんに話せて少し気持ちが楽になれた。本当に大変なのは子ども本人なのだから、親の我らがしっかりしなくては…」とありました。居心地のよい宿泊施設や食品などの物資の提供だけでなく、ボラさん達はいつもさりげなくも温かく精神面で支えてもらいました。今の私たち家族の生活があるのは、病院の医師や看護師さん達のご尽力に加えて、リラのいえの支援のおかげです。その後は通院でリラのいえの前を通り、ボラさん達が育てた斜面の芝桜など、美しく草花に彩られている敷地を見ては、当時に思いを馳せておりました。


高校生になり、息子はこの春に主治医の先生の退官も重なって卒院することになりました。卒院の日、ご挨拶にと久しぶり訪ねたリラのいえで、息子の成長と一緒に喜んでいただき、ボランティアさん達の寄り添う優しさがずっと変わらないことに感銘を受けました。この15周年会報の場をいただいて、あらためてリラのいえの運営にたずさわるすべての方々に御礼と感謝を申し上げます。今、入院や通院しているお子さん達の回復と共に、病児を支えるご家族とボランティアさんの方々のご健康を願い、微力ではありますが今後も活動を支えさせてください。




上：2009年
下：2023年

支援者さんに聞きました

ご支援いただいている皆様から、メッセージをお寄せいただきました。
①お名前②職業・肩書③お住まい④ご支援いただいたきっかけ⑤メッセージ


- 
- ①齊藤 進治
 - ②社会福祉法人ひかり
(戸塚区川上町) 理事長

③川崎市
④⑤こども医療センターとの出会いは40年ほど前のこと。そして今から4年ほど前に、リラのいえと出会った。生まれてくる子どもたちと病気と闘う子どもたちを見護る人たちを、私には何もできないけど、そばにいてことで応援できるなら、と思っています。

- 
- ①長嶋 健志
 - ②株式会社ミツバ
 - ③横浜市戸塚区


④エフエム戸塚の相浦さんからこども医療センターとリラのいえの見学会に誘って頂いたことがきっかけで、病気に罹った全国のこどもたちの家族に寄り添うという思いにとっても感銘を受けました。

⑤おかげさまで自分も家族も今まで大きな病気をすることなく過ごすことができましたので、そのことへの感謝の気持ちとしてリラのいえの支援をさせて頂いています。リラのいえで活動されているボランティアさんに比べれば足元にも及ばない支援ですが、今後も継続して行き、いつかは汗を流す活動も参加したいと思っています。

- 
- ①小原 淳
 - ②横浜南ロータリークラブ会員
(職業：宅地建物取引業)

③横浜市南区
④当クラブ会員が、地域誌・新聞等の記事の中からこども医療センター関連で「リラのいえ」開設を知り、担当委員会に話しました。委員が開設前の施設を訪ね、それが切っ掛けとなり、現在までの交流に繋がりました。

⑤リラのいえ開設前でしたが、初めて施設を訪ねたとき、耳にする病名が殆ど初めて聞く知らないものばかりで、自分が健康という尊い宝物を貰っていることに初めて気付かされました。開設の趣旨を知り、横浜南ロータリークラブとしてほんの僅かですが支援をさせていただくとともに、個人として何かお役に立つことができないか？という思いがこみあげてきました。「一隅を照らす」という言葉がありますが、これからは僅かながら何かお役にたてればと思っています。

- 
- ①浅野 良太
 - ②小林製薬(株)で研究開発をしています。

③大阪府茨木市
④サービスグラントのプロボノリーグへの参加がきっかけです。拝見したスマイルオブキッズの会報誌で、ご家族のために頑張るお父さんのお話に共感し、私も利用者さんはじめ皆さんのお役に立ちたい、と考えました。

⑤リラのいえで活動する皆さんの暖かさに胸を打たれました。支援活動で利用者さんのアンケート集計に関わりましたが、皆さんのその思いが利用者の皆さんに伝わっていることがわかり、私も嬉しく思いました。関係者の皆さんの善意を拠り所にして、これだけ活動の輪が広がっていることは本当に驚きです！これから、子どもたちと、愛するこども達のためにと考え行動されている方々を、私も微力ながらサポートできればと思っています。

ボランティアさんに聞きました

リラのいえで活躍されているボランティアさんをご紹介します！

①お名前 ②お住まい ③好きなこと・得意なこと ④ひとことメッセージ

①太田 優子

②南区别所

③趣味：旅行、宗教曲を歌うこと

好きな所：美術館、映画館、図書館

④リラのいえに関わって5年弱。私にとってリラのいえ、そして利用者の方々が今や心の拠りどころの一つとなっています。これからも利用者の方々の思いを大切に、ともに居心地がよいリラのいえを目指し活動したいと思います。



①加来 智子

②鎌倉市

③好きなこと：テニス、ハイキング、歌、新しいことにチャレンジして暮らすこと

④活動に参加したきっかけは、行松さんからの紹介です。

それまではこういった施設があることを知りませんでした。やってみて、リラのいえがあることによって、たくさんのご家族の方が助かっているのだなということを知りました。フルタイムで仕事をしながらの参加なので、頻繁にはお手伝いに来れないのが残念ですが、細く長く続けていければと思っています。



①皆川 久子

②港南区港南台

③家の事をするのが好き。リラを手伝う様になり色々勉強になります。

④子育て・介護が終わり何か出来る事はないかと、数年前にTVで観たリラのいえの事を思い出して電話していました。ボランティアの方達との交流が楽しくて仕方ありません。出来る限り続けていきたいと思っています。



①佐々木 孝

②鎌倉市

③好きな事：楽器サックス・クルマ＆バイク＆自転車・カメラ・本（読書）

得意な事：物作り＆修理一般！特に精密を極めたモノ

④参加のきっかけは同じ鎌倉市民の行松氏の勧め！何よりも自身の子どもを、、、救える事出来ずに！当直だけのボランティアですが、入れる時は参加させていただきます。



①堀内 洋子

②南区六ツ川

③手芸・和裁

④ボランティアの方の誘いで「リラのいえ」を知り、私には出来ないと思っていました。「お勤めじゃないのよ、自分の出来る事をすればいいのよ」の一言で参加する様になり、18～20時の時間帯が埋まらないのに気付く、この時間を埋めるのもボランティアなのではないかと続けています。これからも細く長く続けたいと思います。宜しく・・・



～行松さんよりコメント～

鎌倉の素敵なカフェの常連仲間だった加来さんと佐々木さんをリラのいえにお誘いしました。今は仕事の都合で北海道におり、なかなか参加できないのですが、今年元旦の夜に久しぶりに当直を経験し、やっぱり私はこの場所が好きだなあと、改めて感じました。リラのいえのボランティアを本格再開できる日を楽しみにしています。



施設長退任とリラのいえのこれから

今年度、リラのいえの運営体制を変更いたしました。開設当初から中心的な役割を担っていた施設長が退任。その経緯や活動への思いについて、元施設長と事務局長がお話しました。

リラのいえ元施設長 佐伯 トシコ

1970年～2007年まで、こども医療センターで事務職として勤務。遠方からご家族が治療に来られるのを知り、1999年1月、自宅を建て替える機会に2階をファミリーハウスとして提供を開始。数年後、施設の必要性に声があがり、医療センター・スマイルオブキッズと一緒に募金活動をして2008年にリラのいえを開設。



スマイルオブキッズ事務局長 谷畑 育子

2016年入職。活動に関わったきっかけは、4才の娘を脳腫瘍で亡くしたこと。闘病中、たくさんの方に支えられた経験から、家族支援の重要性を実感している。利用者さんに寄り添うリラのいえスタッフに学び、応援の輪を広げたいと日々奮闘中。

聞き手・まとめ：山崎 彩さん（フリーアナウンサー）

生きるとは何なのか。人生で大切なことは何なのか。そんなことを考えていたとき。日々、真剣に命と向き合っている人たちがいらっしゃる現場に行くことで、何か感じられるものがあるかもしれないと思いました。リラのいえで、何か私に出来ることはないかとアポを取り訪ねたのがきっかけで、インタビュアーという形で携わることになりました。今回、このような貴重なご縁をいただいたことに感謝致します。



—これまでの活動の思いをお聞かせください。

谷畑…話しかけるのも憚れるような、いつも下を向かれていたお母さんが、リラのいえで過ごすうちに表情が明るくなっていく様子を見ると、良かったなど。それが本当のリラのいえの意義なんだろうなと感じます。

佐伯…泣ける場所を提供できることが私は一番大事だと思っています。家でも病院でも、心の蓋を開ける場所はなかなかないんです。ここなら泣けるというのはお母さんも一歩前進できた証拠。そういう環境をスタッフが作っていると思っています。1999年の1月、自宅をフ

ミリーハウスとして提供したのがリラのいえの始まりですが、「滞在施設があったから神奈川にしました」と言われることもあり、県内外から訪れるご家族にお手伝いができる事は私たちにとっても大きなやりがいです。私自身もこの年齢まで皆様とご一緒に、素晴らしい人生を送れた事は、ご家族・支援者の皆様、そして現場のスタッフのお蔭であり、感謝しきれません。

—リラのいえの魅力はどんなところでしょうか。

佐伯…支える人の輪が素晴らしいです。強制的に作らうと思うとギクシャクして輪にならないと思うんです。それを15年かけて築いてきました。

—今回、体制変更されるといいますが、どのように変わっていくのでしょうか。

谷畑…佐伯さんがいないとリラのいえは成り立たなかつたのですが、この先10年、20年と活動し続けることはできません。佐伯さんがやってきたことを、うまく引き継いでいけるような体制を作る必要があります。同じように一人の人が全てを担っていくのではなく、役割分担をしていくことで進めています。

具体的には、ハウスマネージャー！



ボランティアコーディネーターという役割に分けて、有償の職員を2名雇用しました。私は事務局長として、フアンドレイジング・イベント運営・外部の方との連絡などをすでに引き継いでいます。

ハウスマネージャー・ボランティアコーディネーター・事務局長の3人組が運営部隊となって施設長的な役割を分担していると考えています。佐伯さんはこれまで通り、当直などのボランティア活動は続けてください。

「内部の体制、システムが変更されるということですね。」
谷畑：はい。「リラのいえの大事な

ところを変えずに、誰がやってもできるようにするにはどうしたらいいか」というのがテーマです。この数年、みんなでそれを考えながら、意見交換を重ねて、やっと形になってきました。

「今後スタッフにお願いしたいサポートは何がありますか。」

谷畑：日々のお当番（リラのいえの管理）以外に、運営に近いところで活動してくれるスタッフですね。チームで動いてくれると良いなど。あとはパソコンを使った業務。申請書類の作成などをお願いしたいです。

「新たなリラのいえ。どんなところに注目していただきたいですか。」

佐伯：利用者さん、支援者さん、スタッフのみんなが上手く回転しているの、私が日本一だと思うこの滞在施設を継続できると思っています。時代に合ったNPOでありたいです。

谷畑：いろいろな人の関わりがもつと増えて、みんな「何ができるか？」を考えることで、この活動をより良くしていきたい。そして利用者さんと支援者さんには、とにかく「安心してください」とお伝えしたいです。有償の人が増えると、ボランティアさんが作ってきた雰囲気

が変わっちゃうんじゃない？と思われるかもしれないですが。病気のお子さん、そのご家族を支えたいという思いは、みんな一緒だと思うんです。その活動を安定させるための体制変更なので、大切な思いを引き継いで、皆さんに誇れるような施設であり団体であり続けることはお約束します。これまで通り見守っていただけなら嬉しいです。



インタビュー全文はスマイルオプキッズホームページに掲載しています。QRコードからご覧いただけます。



佐伯トシコ
インタビュー全文



谷畑育子
インタビュー全文





2018年5月～2023年4月 リラのいえ 5年間の歩み

2018年度の出来ごと

- ・ 西日本豪雨
- ・ 大型台風
- ・ 北海道で震度7



2019年度の出来ごと

- ・ 令和に改元
- ・ 消費税10%
- ・ ダイヤモンド・プリンセス横浜港入港



2020年度の出来ごと

- ・ コロナ感染拡大
- ・ 緊急事態宣言
- ・ 菅内閣発足



(2018年5月)

- ・ 「スマイルオブキッズ 設立20周年・リラのいえ開設10周年記念式典」開催
- ・ 2018年度から3年間組織基盤強化プログラムに参加 (Panasonic NPOサポートファンド助成)

(2019年3月)

- ・ オレンジクラブときょうだい児支援連絡会発足

(4月)

- ・ 小林製薬青い鳥財団助成を受けて、保育料の引き下げ開始 (500円→300円)

(6月)

- ・ 寄付クレジット決済・マンスリーサポーター開始

(10月)

- ・ 第1回きょうだい児支援研修会開催
- ・ 法人紹介動画作成



(2020年2月)

- ・ 医療センター面会制限開始
- ・ リラのいえでも問診票の設置や消毒の徹底など開始
- ・ 医療センターきょうだい入館制限
- ・ リラのいえ保育の利用者が増加

(4月)

- ・ ボランティア活動制限。当直の中止 (4～6月)
- ・ 4月5日～5月31日きょうだい児保育休園

(2020年5月)

- ・ 会議や見学のオンライン化を進める

(6～7月)

- ・ 6月1日～預かり人数を減らして保育再開
- ・ 法人公式Twitter開設
- ・ 社会福祉法人NHK厚生文化事業団わかば基金助成 (ホームページリニューアル)

(8月)

- ・ 赤い羽根 子どもと家族の緊急支援活動配分事業助成 (パーティション設置)
- ・ 横浜市新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金 (日よけなど購入)
- ・ ふれあいコンサート中止のため、VOJAメンバーによるメッセージ動画を公開
- ・ インターン生受け入れ開始

(10月)

- ・ 横浜市 市民公益活動緊急支援助成金 (リラのいえWi-Fi通信環境整備事業)
- ・ Kintone導入 (管理業務のデジタル化促進)



イベントの振り返り

ミールサポートを通じて、食の支援が思った以上に心も応援すること、お弁当を届けてくださるお店に対してもスマイルオブキッズの精神を発信できていると感じています。最近では、再開が相次ぐ外部のイベントにも積極的に参加しています。

リラのいえの5年間

遺贈寄付があったことを機に利用料を引き下げました。コロナ禍では、多方面から感染対策の消耗品を寄付いただきました。リモートワークでリラのいえでお仕事ができる親御さんが増えました。Wi-Fi環境改善の効果でもあり、喜ばれています。

組織体制の強化

組織基盤強化事業を機に、「愛する子ども達のため」心をひとつにして事業を推進できるようになりました。リラのいえ新体制発足にあたっては、スタッフ一人一人の気持ちをすくい上げたことに加えて、外部の視点を取り入れたことも大きな力になりました。

きょうだい児保育の5年間

医療センターオレンジクラブとの連絡会で、きょうだい児の預け先を探すご家族に情報提供ができるようになりました。センターのきょうだい入館制限で、リラのいえ保育の利用は増えています。シンポジウムの連続開催で、他団体とのネットワークが広がっています。



(2022年8月)

- ・ 認定NPO法人シャイン・オン・キッズのファシリテッド犬訓練犬受け入れ
- ・ 「地域がささえるふれあいコンサート」会場参加再開。配信日も設定

(10月)

- ・ 第4回きょうだい児支援シンポジウム(リラのいえからオンライン配信)
- ・ 認定NPO法人サービスグラントを介してプロボノリーグ参加(広報ツール制作ほか)

(12月)

- ・ リラの会(ボランティアの交流会)でリラのいえ新体制について説明
- ・ 小林製薬青い鳥財団助成(きょうだい児保育事業)
- ・ クリスマスボランティアミールサポート実施。以降イベントごとに実施予定



(2023年1月)

- ・ かながわボランティアフェスタ参加

(3月)

- ・ 佐伯トシコ施設長退任

(4月)

- ・ 新運営体制発足。ハウスマネージャー・ボランティアコーディネーターを雇用

(2022年1~2月)

- ・ For Children基金(きょうだい児保育事業)
- ・ 日本おもちゃ図書館財団助成(きょうだい児保育事業)

(3月)

- ・ リラのいえ利用者向け施設紹介動画制作(学生ボランティア作)

(4月)

- ・ 施設利用料引き下げ(1,500円→1,000円)

(5月)

- ・ 一般財団法人日本寄付財団助成(ハウスクリーニング)
- ・ JAMMIN チャリティTシャツ販売

(6月)

- ・ 大規模防災訓練
- ・ 赤い羽根 重症児等とその家族に対する支援活動応援助成(PC購入ほか)

(7月)

- ・ コロナ禍の制限の中、カンボジアからの家族受け入れ
- ・ チャリティーコンサート開催(人数制限あり)
- ・ かながわボランティア成長支援事業参加(新体制構築の推進)



(2021年1月)

- ・ 第二回きょうだい児支援シンポジウム(オンラインを併用)

(4月)

- ・ 次世代に向けた組織づくりスタート

(7月)

- ・ チャリティーコンサート人数制限して再開
- ・ 認定NPOの更新。2021年7月1日から2026年6月30日まで
- ・ 法人の中期的な行動指針を記した絵本「私たちの約束」発行

(8月)

- ・ 「地域がささえるふれあいコンサート」録画配信で再開

(9月)

- ・ ミールサポート事業開始(ミールサポートのための寄付キャンペーンを実施)

(10月)

- ・ 第3回きょうだい児支援シンポジウム(リラのいえからオンライン配信)
- ・ READYFOR 新型コロナウイルス感染症: 拡大防止活動基金(きょうだい児保育事業)

(11月)

- ・ シブリングサポーター研修(NPO法人しづたね・オレンジクラブ・スマイルオブキッズ共催)
- ・ 認定NPO法人サービスグラントを介して企業プロボノの取り入れ(利用者情報データベース化)
- ・ 認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクトが「うみとそらのおうち」開設。リラのいえボランティアが見学

(12月)

- ・ パルシステム神奈川市民活動応援プログラム助成(玄関に非接触検温器設置)

2021年

2021年度の出来ごと

- ・ 東京五輪
- ・ 岸田内閣発足
- ・ ウクライナ侵攻



2022年

2022年度の出来ごと

- ・ 安倍元首相襲撃
- ・ 旧統一教会政治問題化
- ・ エリザベス女王崩御

2023年



利用者さんアンケート結果報告

宿泊利用者の評価(満足度%)*



*[満足][やや満足][どちらともいえない][やや不満][不満]の選択肢で[満足][やや満足]の2項目の合計が占める割合

< 滞在施設の利用者さんに喜んでいただけたこと >

● 居住環境や安全面に関すること

- ・ 個室で落ち着ける空間と、他の人とコミュニケーションが取れる場の両方のバランスが良く、安心して滞在できた。
- ・ 季節を感じる装飾やお花たちにも心癒された。
- ・ リラのいえ開設当初より格段に使いやすくなっていると感じた。
- ・ 夜中もスタッフが駐在してくれているので安心感がある。夜中に陣痛が起こり、夜間担当のスタッフの方にお世話になった。
- ・ 洗濯物を取り込んでいただけて、とてもありがたかった。

● 人とのふれあいに関すること

- ・ スタッフや他のご家族と適度な距離感でコミュニケーションがとれた。病気の話だけでなく、何気ない日常会話に不安や孤独感から救われた。
- ・ 病院から疲れて帰ってきて笑顔で出迎えてくれて、とても心が休まったのを覚えている。
- ・ 爆笑あり涙ありの話をスタッフの方々と聞いたり話したりする中で、精神的にも助けて頂いている。
- ・ 細かい配慮や病院への行き帰りの声かけに励まされた。
- ・ いつも利用者優先で第一に考えてくださっているのが伝わる。
- ・ すごく話しかけてくる訳でなく、必要なことを手短かに教えてくれる。遠方からの移動だけで疲れているので、細かな優しさと配慮がありがたい。
- ・ ボランティアを中心に運営されていることに本当に頭がさがる思い。運営側にも金銭に限らず何かしら還元できると、利用者も少し心が安らぐ。

● リラのいえがあって良かった、と思えたこと

- ・ 月に何回かのミールサポートもとてもありがたかった。
- ・ 宿泊中は子どもの事で頭がいっぱいで、自分のご飯などは疎かになりがちだが、ご飯の作り置きのご案内やお弁当の差し入れ、寄付のレトルト食品がとても嬉しかった。
- ・ 病院から近いので面会時間いっぱいまでいることができた。毎日自宅から通っていたら同じように出来なかったし、心身共に保てなかったと思う。
- ・ 子どもの病気で子ども親も大変なときに、リラで親子水入らずで過ごせたことを一生忘れない。
- ・ 不安な気持ちで横浜に来たが、温かく受け入れていただいた。知らない土地で、誰かしらいる空間にとっても安心したことを思い出す。
- ・ スタッフの皆様に支えて頂いたからこそ、入院生活を乗り越え今の生活があるということを常に心に留めて、一日一日大切に過ごしたいと思う。
- ・ 子どもの病気に向き合っていると、季節の行事や自分の事を忘れがちに。リラのいえではひな祭りにお赤飯の用意があったり、そんな心遣いが沁みだ。
- ・ 10年近くにわたりこども医療センターに通えているのはリラのいえがあったから。より良い医療を受けられる選択ができていることに感謝している。

[きょうだい児保育利用者の評価(満足度%)*]



*[満足][やや満足][どちらともいえない][やや不満][不満]の選択肢で[満足][やや満足]の2項目の合計が占める割合

<きょうだい児保育の利用者さんに喜んでいただけたこと>

●お子さんの様子

- ・ 毎回、リラのいえに行くよと言うと、子どもが「やったー！」と喜ぶ。
- ・ 預ける時は必ず笑顔で嫌がらずに入っていき、帰りも帰りたがらないくらい。本当にいつもリラの時間が楽しかったのだと思う。
- ・ きょうだい児はリラに行きたくて入院や通院をひそかに待っているくらいリラが大好き。きょうだいの通院や入院という我慢の時間を楽しみな時間に変えていただき、感謝している。
- ・ パンフレットを見ては「ここ行ったことあるんだ～。おもちゃがいっぱいあるんだよ。また行きたいな～。」と話している。

●親御さんの気持ち

- ・ 急なお願いにも快く応じてくださり感謝している。急なお願いの時には保護者も病院から急な対応を迫られている場合が多く心の余裕がない中で温かい対応をしていただくと心が救われる。
- ・ 保育士さんの対応がとても良く子どもも懐くのが早くて、安心感がある。お散歩や砂遊びなど、日々子どもにしてあげられないことをしていただいただけけるのでありがたい。
- ・ お迎えの際の娘の様子や、娘からの話で楽しんでいることが伝わる。また、保育日誌を読むことでホッとした気持ちになる。
- ・ 初めての一時保育だったので色々不安だったが(ご迷惑をおかけしないか、他のお友達と仲良く遊べるか等)、お迎えの時に様子を聞いてちゃんと過ごせてたようで安心した。記録もいただけたので、様子がとても分かりやすかった。
- ・ 小学生と幼稚園児と一緒に預けられる所はなかなかないが、リラのいえと一緒に預っていただける上にそれぞれに合わせて丁寧に保育していただけるため、安心して預けることができる。子どもたちも「楽しかった！また行きたい！」と言っている。また機会があればお願いしたい。
- ・ 皆さんのおかげで、楽しく通院ができています。普段は保育園や幼稚園に預けることが多いが、「もしもの時もリラがある！」という安心感に本当に救われる。
- ・ 上の子の手術の時間がハッキリ分からない状態だったが、早朝から遅くまで対応いただき本当に助かった。
- ・ 子どもの意思を尊重して見守ってくださるところがとても素晴らしいと思った。
- ・ 病院に近いことが何より。一般の家のように家庭的でリラックスできて、子どもも毎回楽しみにしている。

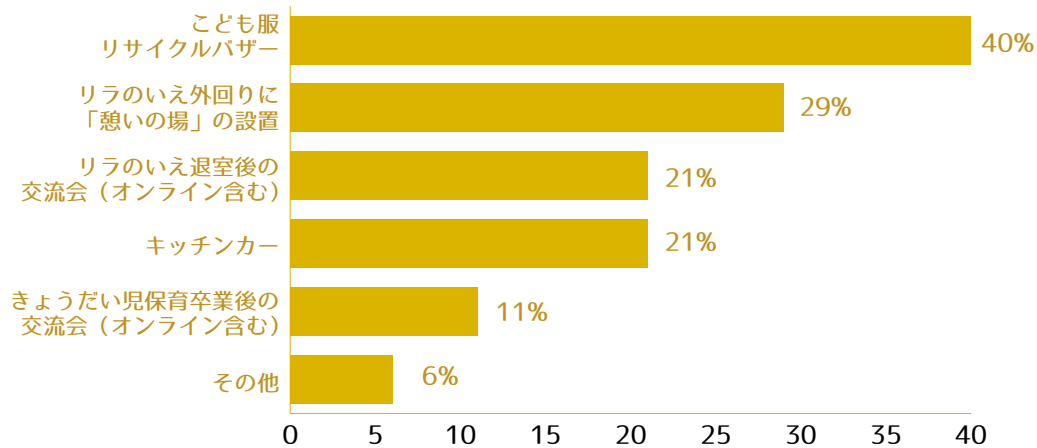
リラのいえ 15周年の節目に改めて利用者の皆様のご意見やご感想をうかがい、今後のより良い運営・活動へとつなげて行くためにアンケートを行いました。

■アンケート回収期間 2022年12月21日～2023年2月21日

■回収方法 GoogleFormによるアンケート

※アンケート回答は匿名(個人情報収集していない)

あったらいいなと思う改善要望



<改善要望と回答>

●滞在施設改善要望

- ・ メールやネットからでも予約ができると良い。
- ・ 宿泊費の支払い方法が郵便振り込み以外にもあると良い。

【回答】

予約については、電話でできることの安心感をあげてくださる方もありましたが、方法を選べるようにネット予約なども取り入れていきます。

ネット振込をお使いいただけるようにご案内します。キャッシュレス決済に対応できるように、学生ボランティアさんにリサーチしていただいています。

- ・ 生活音が響きやすく、早朝のカーテン開けの音など、遅くまで面会していた時は苦痛に感じることもあった。
- ・ コロナ禍だったので、部屋で食事ができると良かった。
- ・ 冷暖房のお掃除が難しい。
- ・ ユニットバスに置いてある掃除用具の用途が書いてあると躊躇なく使える。（洗面台用？お風呂用？）
- ・ 洗濯機と乾燥機の使い方、終わった後の掃除の仕方の説明があったら有難いなと思った。

【回答】

利用者さんの「ちょっと困ったところ」は、今回のアンケートで気づきをいただきました。ご意見をスタッフで共有すること、分かりやすい表示など心がけます。

- ・ あったら良いなと思ったものは姿見。病院のエレベーターに映る全身像に「ドキッ」とする事が多かったので、病院に行くまでの間に服装や横からの姿勢などチェック出来ると嬉しいなと思った。

【回答】

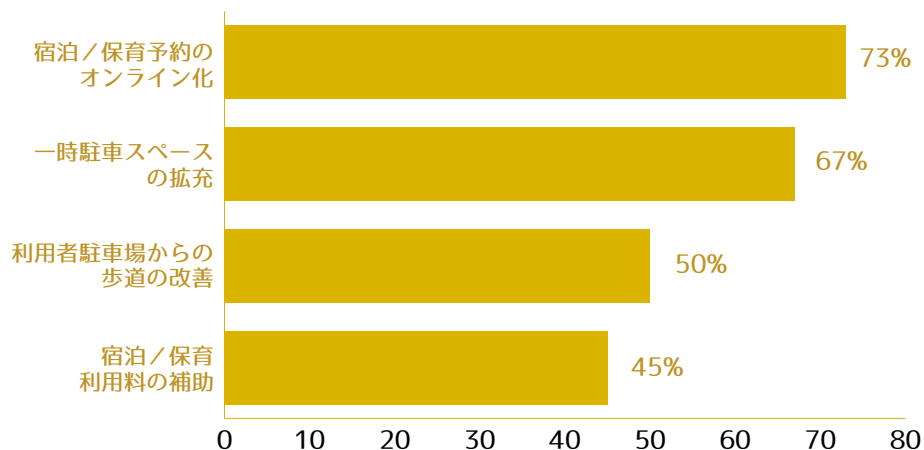
このご意見をいただいてすぐに、理事長宅から姿見が寄付されました。玄関で活躍しています。

- ・ 今の料金でも十分ありがたいが、子どものために仕事ができず、遠方からの移動費や長期の滞在費が大きな負担となっている人もいます。特別に負担を軽減する補助があれば良いと思う。

【回答】

昨年度は利用料の引き下げがあり、少し軽減できたのではないかと思います。

気になることの改善要望



●きょうだい児保育改善要望

- ・ お部屋の規模的に少し手狭な印象。まだ長時間のお留守番が難しい小学生低学年だと少し手持ち無沙汰かも？
- ・ ベビーカーで上がるのが大変だったので、病院に併設されていると嬉しい。
- ・ 病院から歩いていく道が危ないので、そこが不安。病院の敷地内にあればもっと利用しやすい。

【回答】

医療センターとのきょうだい児支援連絡会でも場所については話題にあがります。きょうだいさんにとってより良い場について考えていきます。

- ・ 大きな車だと駐車場が停めにくく、それだけ改善されるといいなと思っている。

【回答】

駐車場の改善は立地条件からとても悩ましい問題で、リラの丘プロジェクト(17ページ参照)での長期的な課題としてなんとか解決していきたいです。

- ・ 電話予約以外で、ネット予約など気軽にできると、通院のときも利用しやすいと思った。
- ・ ネットで予約状況などが見られると便利。
- ・ 年末年始や祝日など保育園も休みのため、きょうだい児の預け先がない。難しいとは思いますが可能な限りお願いできると助かる。
- ・ 隔週でも良いので土日のどちらか預けられたら平日行くのが難しい時に助かる。

【回答】

保育のネット予約について、現在準備を進めています。休日は対応できる保育士がいる場合はお預かりいたします。

<リラのいえへのエール！>


- ・ 今でもFacebookで拝見しています。支援の輪がどんどん広がっているのを見て、子どもと一緒にすごい事だねと話しています。今後も陰ながら見守らせていただきます。
- ・ 世の中にこのような素敵な活動をしている方達を知る事ができました。これからもご活躍を願っています。
- ・ リラのいえで過ごせた時間は自分の考え方が良い方に変った大きな財産となりました。いつか私も皆様にしていただいたことを、する立場になっていたらと思います。これからも、一人でも多くの方が心救われますように。応援しています。
- ・ 急な予約にも対応いただける。顔を覚えてくださるスタッフさんも多く、声かけにいつも助けられていました。コロナ禍にも関わらず、利用者のことを思ってサポートくださる皆様には何度お礼を申し上げても足りないくらい。このような時世ですので、皆様もくれぐれもお身体お大事になさってください。
- ・ いつか必ず私も病気の子供達や支える家族の力になりたい。たくさんの方の支援があってこの子の命が繋がれ、今の生活が成り立っています。

2018～2022年度 数字で見る「リラのいえ」の5年間

「リラのいえ」開設15周年の節目に、過去5年の活動にまつわる数字をいろいろな視点でとらえました。情報のデータベース化に際しては、認定NPO法人サービスグラント様を通じた企業プロボノで、(株)日立製作所様に要件定義をいただきました。また、赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン「重症児等とその家族に対する支援活動応援助成」により入力作業に使用するパソコンを購入したほか、データ入力ボランティアの交通費にも活用させていただきました。皆様のご支援に心より感謝し、今後の広報活動に活かしてまいります。

355組 

2022年度にリラのいえに滞在された家族の延べ人数

72泊  106,318円

2022年にリラのいえに30泊以上した家族の平均宿泊数と利用料

996人 

2022年度にきょうだい児保育を利用したお子さんの延べ人数

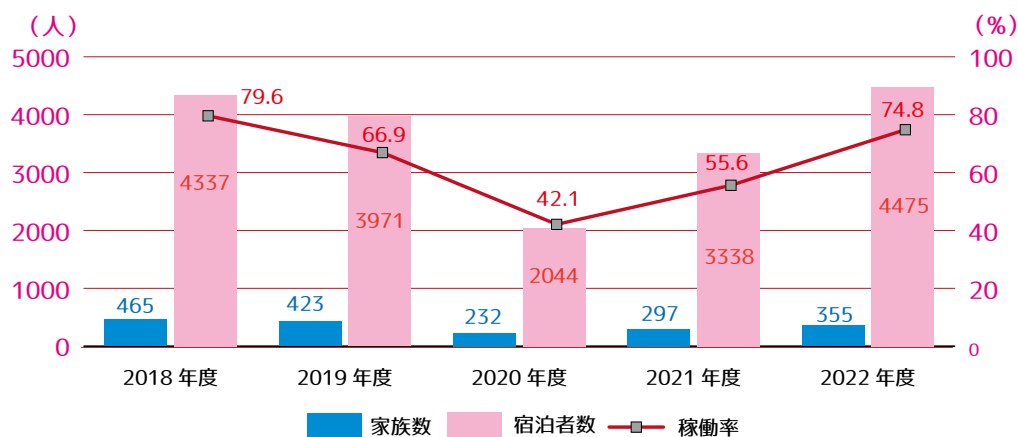
82人 

2022年度に活動したボランティアの人数

52% 

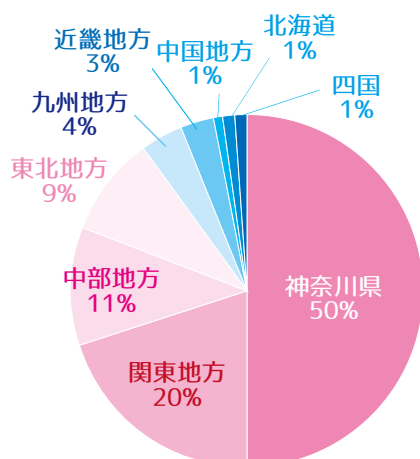
リラのいえ運営費に占める寄付金の割合(過去5年間での割合)

▲ 「リラのいえ」過去5年間の延べ宿泊者数の推移

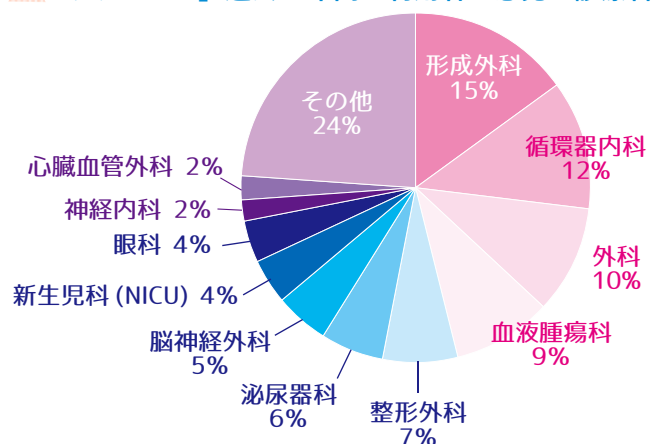


コロナ禍初期の2020年は利用が極端に少なくなりました。特に、初めての緊急事態宣言が発出した4月には、県をまたいだ移動ができず、県内の1～2家族のみの利用が続いていました。その後、いつまでも治療は先延ばしにできないので、県内を中心に利用は増えて行きました。

▲ 「リラのいえ」過去5年間の地域別利用者数



▲ 「リラのいえ」過去5年間の利用者の患児の診療科目



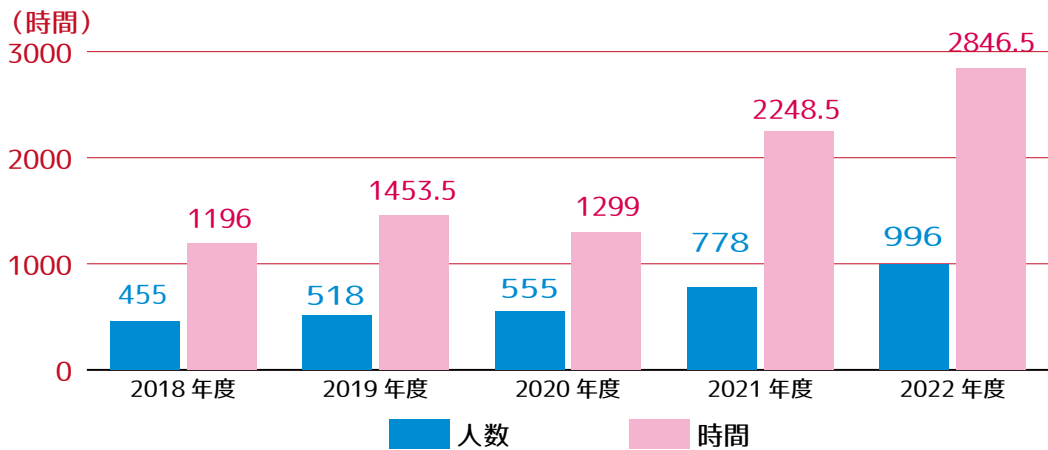
その他に含まれる診療科：産婦人科・総合診療科・耳鼻いんこう科・感染免疫科内科・皮膚科・アレルギー科・内分泌代謝科・歯科・母性内科・遺伝科・児童思春期精神科・救急・集中治療科輸血科など

▲ 「リラのいえ」 利用料引き下げによる合計額の変化（30泊以上の平均値）



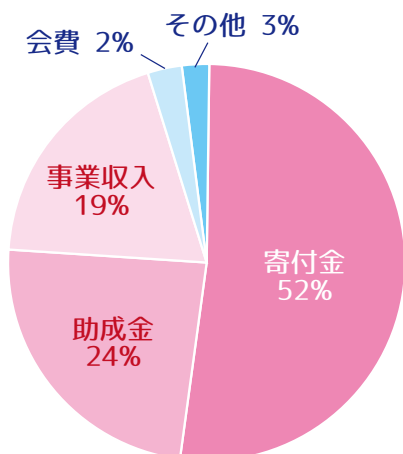
皆様のご支援により、長期利用の方の利用料は年間約 53,000 円ご負担を減らすことができます。

▲ 「リラのいえきょうだい児保育」 過去5年間の預かり人数と時間



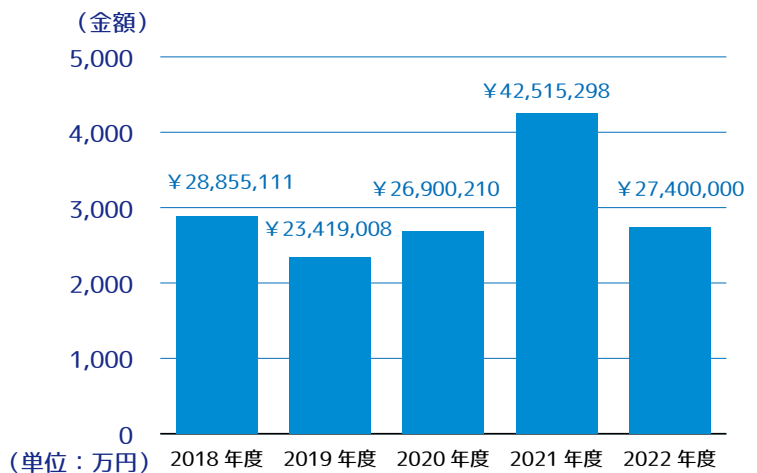
- * 2020年2月24日から、医療センターのボランティア団体オレンジクラブのきょうだい預かりが休止しています。少しずつ再開していますが、以前行っていたセンター内の待合室での活動は再開していません。
- * 2020年4月5日から5月31日まで、全国臨時休校・休園に合わせてリラのいえきょうだい児保育も休園しました。再開後は利用の希望が増え続けています。

▲ 「スマイルオブキッズ」 過去5年間の年間経常収入の内訳



▲ スマイルオブキッズ、過去5年間の年間経常収入の推移

※ 2022年度は概算です。



2021年度に約1,300万円の遺贈を受けました。これを利用者さんに還元するため、翌年度より利用料の引き下げをしています。（一泊一人1,500円→1,000円）

温かい居場所

松永 絵理子さんより



長男の入院が10ヶ月程になりそうだ、と主治医から告げられて真っ先に頭に浮かんだのは、まだ小学1年生の次男の事でした。

自宅から病院までは、高速道路を利用して1時間、渋滞にはまると3時間もかかります。私は、経済面や体力的な事を考え、病院の近くの滞在施設「リラのいえ」にお世話になることに決めました。

病院は、コロナ禍ということもあり、きょうだい児は入る事ができず、次男は長男にも会えず、両親のどちらかと生活する不安定な毎日が始まりました。「リラのいえ」も病院と同様、きょうだい児が宿泊することは難しい状況でしたが、施設長に次男の寂しさや不安定さを理解して頂き、1ヶ月程度、一緒に生活を送る事が出来るようになりました。ただ、小学1年生の男の子が一日中、部屋の中で過ごすのは厳しいと思い、きょうだい児保育を利用させて頂くことにしました。

次男は衝動性が強く、刺激に弱い性格なので、学校のお友達ともなかなか上手く遊べないこともあり、年下のお友達が多いところでどんな風に遊ぶのか少し心配でした。初日を終えると、「どうだった？」と聞くよりも前に、次男の方から「シルバニアで遊んだり、お医者さんごっこをしたり、レゴをしたり・・・」と、笑顔いっぱい教えてくれました。先生からも次男の良いところを沢山見つけてもらい、親の知らない次男の成長を感じる事が出来ました。次男の大切な居場所を見つけた気がして、とてもほっとしたのを覚えています。

どうしても長男の入院生活に合わせた日常で、次男には我慢してもらおう事も多く申し訳ない気持ちでしたが、次男の為の居場所や時間を作る事が出来、感謝の気持ちでいっぱいです。ダイニングで保育の先生を見つけるなり、駆け寄って抱きつかます。

大切に見守ってくれる人がいる。それだけで、家族全員頑張れます。

きょうだい児保育

リラのいえきょうだい児保育施設長 松島 より子

「この子は、ママが赤ちゃんのお見舞いに通院しているので、他の子と遊ぶ経験が少ないのかもしれないね」「お帰りの時は毎回お友達と笑顔でタッチして帰るので、お友達と遊べるのが嬉しいだね」「あのときどんな言葉かけをすればよかったのかな」「その時は少し興奮していたので、別室で保育士と1対1でじっくり遊んだら、ありがとうという言葉ができました」

これは、毎月オンラインで行われる「保育話し合い」で上がった、あるきょうだい児についての様子です。

リラのいえきょうだい児保育は、リラのいえ開設の翌年に開始したので、14年目を迎えています。当初はお預かりとして子どもと保護者双方の負担が少なくなれば良いと考えていました。しかし「きょうだい児支援シンポジウム」を4年間開催し、「きょうだい児」「きょうだいさん」への理解が深まりました。

リラのいえのきょうだい児はまだ幼くて、きょうだい児であることの不安は感じていないでしょう。でも少しずつ大きくなり、少しずつ心配事が増えていき、大人のきょうだいさんになります。そんな時、リラで過ごした時間を思い出して、「ママが病院に行ってたけど、いっぱい遊べて楽しかったなあ」と少しでも温かい気持ちになって明るく過ごしてもらえたら嬉しいです。

私たち保育士はこのように、一人一人のきょうだい児を大切に思いながら、日々保育を行っています。何よりもみんなとってもかわいいです。子どもと保育士の笑顔と笑い声が絶えない保育を続けていきたいと思います。そしてこれからも、病気や障害のあるお子さんの親御さん、きょうだい児たちを応援していきたいです。



リラのいえ開設 15 周年記念事業

①記念式典の開催

リラのいえは開設以来、ボランティアスタッフと支援者の皆様のお力添えにより、心身ともに大きな負担を抱えるご家族を支え続けてきました。近年は医療型短期入所施設やこどもホスピスにも注目が集まり、全国的に病児家族を支える様々な取り組みが広がっています。

大切な活動を継続し、より広げていくために必要なことは何か考え、スマイルオブキッズの理念と今後の方針を共有することを目的として、本式典を企画いたしました。



<実施概要>

開催日時	5月27日(土)13時より
場所	神奈川県立こども医療センター体育館
記念講演	医療的ケアがあっても安心して暮らせる社会を目指して～もみじの家からの報告～ 内多 勝康 氏 (国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー)
座談会	リラのいえのこれまでとこれから スマイルオブキッズ理事 ゲスト：八尋 有造 氏 (神奈川県立こども医療センター事務局長)

②リラの丘プロジェクト

リラのいえ回りの空き地に小さな憩いの場を作ります。「きょうだい児保育のお子さんが遊べる日陰を作ってあげたい」という理事長の思いからスタートしました。リラのいえ元施設長も「滞在施設の利用者さんがホッと一息つける場にもなりそう」と賛同し、計画が進んでいます。15周年の象徴として、応援を集めて「みんなの力で作る」ことも目的としています。

そこで、当法人では初となるクラウドファンディングを実施し、建設費用を募集します。5月27日スタート。目標金額は600万円です。皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ご支援の方法はQRコードよりご覧ください。



<実施概要>

- ウッドデッキのスペースに、ガゼボ(屋根付きの小屋のようなもの)を設置。
- 利用者の利便性向上のため、駐車場からの動線を整備。
- 快適な環境を整える「リラの丘プロジェクト」として継続していく予定。

③ロゴマークリニューアル

スマイルオブキッズ・リラのいえのロゴマークをリニューアルします。時代に合った支援のかたち、法人と事業のつながり、リラのいえの温かさを表現できるように、思いを込めて制作中。12月発行の会報誌でお披露目予定です。



※現在のロゴマーク

リラのいえの四季

～ミールサポートの季節だよりをお届けします～

2021年9月、賛同いただいた皆様のご支援によりスタートしたミールサポート事業。月2～3回、協力飲食店の皆様による温かい食事の提供、お弁当の配達を行ってきました。コロナ禍が少し落ち着きを見せたこの冬から、リラのいえボランティアによる調理も始めました。



2022年冬：クリスマス

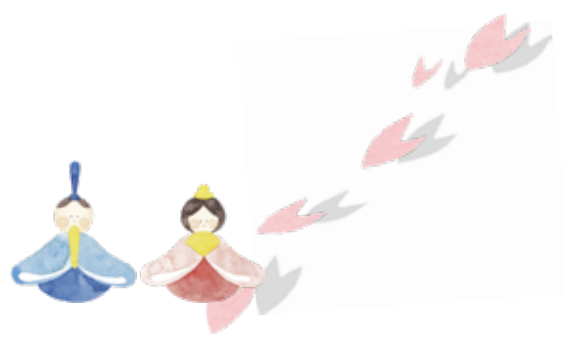
久しぶりにボランティア手作り料理を振る舞いました。クリスマスといえばチキン！かわいいピックは当日集まれなかった方が事前に作って来てくださったものです。

利用者さんより「いつもそばにいてくれるボランティアさんの手作り料理。本当においしかったです。」



2023年春：ひな祭り

お花のレンコン、シイタケの煮つけ、黄色く輝く錦糸卵、たくさんの具材と愛情で華やかなちらし寿司の完成です。利用者さんより「リラのいえにいて、ああ今日はひな祭りだなあ、とか、病院との行き帰りのみの生活で忘れてしまいがちなことを思い出せます。」



- 山森伸子 / 山下薫 / 山田しのぶ / 山田みちよ / 石
- 佳子 / 山腰由紀夫 / 山崎里
- 谷和一郎 / 坂井匠子 / 三浦美奈子 / 三
- 木利明 / 佐藤綾子 / 藤光雄 / 三
- 高尾節子 / 黒澤健司 / 佐藤健 / 佐
- 脇岡あさ子 / 高橋静子 / 高見沢 / 佐
- 田道生 / 古平秀子 / 戸越税理士 / 戸
- 田孝子 / 後藤浩之 / 後藤彰子 / 工藤
- 康井制洋 / 江川日登美 / 江波 / 藤
- 真貴子 / 熊切正志 / 原公泰 / 原
- 朽名勇 / 橋本多美子 / 金城重盛 / 駒
- 一・聡 / 吉田正紀 / 吉田拓生 / 及川
- 大造 / 菊島紘子 / 吉田あけみ / 吉田
- 岩間なつみ / 岩崎真一郎 / 幸代 / 亀岡
- トナリ / 関英一郎 / 関孝弘 / 館野富美子
- 斗 / (株)柴橋商会 / (株)ビジネスパ
- ろみ / 花村伊都子 / 花田大 / いち子 / 晴
- 方面 / 岡山幸弘 / 岡田章 / 荻野繁治 / 加
- 藤映恵 / 加用真実 / 河西真理子 / 河野
- 藤明 / 奥津清 / 横山新一郎 / 横山朋美
- 藤明 / 奥津清 / 横山新一郎 / 横山朋美
- 高橋貞子記念会 / 茨木良枝 / 宇野江津子
- 井上秀枝 / 井上純子 / 一般財団法人
- 井泰子 / 安藤弘子 / 伊藤和弘 / 依田今日
- テイ(株) / 阿出川俊夫 / 芦澤悦子 / 安
- ズヨ / さいとう小児科齋藤綾子 / ライフ
- (株)トミ・管理サービス / オオトシカ
- メンバー(株) / アジアンライズクラブ
- 美香 / 高橋和子 / 渡嘉敷知賀代 / 稲葉啓
- 鳥谷美代子 / 柳澤京子 / 鈴木崇央 / 鈴木
- 博之 / 谷口円香 / 中村淳子 / 中尾和子
- 水谷透 / 星百合子 / 石丸晶子 / 千葉洋子
- 副代 / 小林整治 / 松尾忠雄 / 進藤喜子
- 高尾節子 / 秋元稔子 / 小金丸輝久 / 小川
- 夜子 / 近藤純子 / 駒形真貴子 / 弘正明
- 阿部啓子 / 下出和治 / 岩田慶隆 / 儀間小
- 11月..(株)アジアンライズ

【寄付・賛助による支援者】
 (2022年11月～2023年4月)
 ご寄付一覧(敬称略)
 ご支援、ありがとうございました

本信吾・裕美／市川利子／志澤直樹／氏家ゆり子／室井佳子／篠崎暁子／柴田和代／若狭静枝／酒井伴美／升澤かほる／小森節子／小瀬村芳明／小泉知子／小牧誉弘／小林整治／小林直人／小林木綿子／松嶋光子／松丸和子／松島太郎／松尾忠雄／松尾満知子／松本真理子／松野武夫・須磨子／上田絹子／上田美代子／植田容賦子／新田香代子／森みどり／森晃一／森田みなみ／森田知子／深串美代子／深澤時江／神納智津子／仁田昌寿／須藤克哉／水島朝子／菅原恵子／瀬尾公子／清水紀子／西井弘／西岡智子／西村博子／西田大介／青山真莉／青木節子／齊藤俊雄／齊藤昇／齊藤真紀／齊藤政彦／石井智巳／石橋一子／石原史美／千久田恵／川口記代美／川村征雄／川崎圭子／泉水恭子／浅見ひろみ／多田満恵／大神正史／大石賢二／大木宏之／醍醐公彦・由美子／滝澤始／池田龍子／竹沢佐知子／竹田弘／中野学／長沢保／長谷川洋子／鳥谷美代子／鳥澤竹彦／笛吹美千子／田川正志／田島香代子／渡邊陽子／渡邊美紀／島田啓子／嶋千歌子／湯川仁／藤原栄子／藤原勝美／藤田伸二／藤田真佐江／藤尾由美子／匿名／内田稔／白井シヅ子／白井俊明／樋口とみ子／尾崎尚香／尾田政子・千浪／菱沼良夫／武内純也／事務所武内大佳／風間美矢子／平山真也／米山勝子／豊田順司法書士事務所／北見雅則／北村弘之／堀川浩邦・恵子／毛利環／木村清一／匿名／木谷博子／野中郁男・市子／鈴木将彦・瑞穂／鈴木太郎／和田明美／脇有範／廣崎瑛子／澤田大輔／菅野円満／齊藤雅美／黒飛美紀／有富梨恵／飯島泉／側島文夫／満永文／吉原富美子／(株)アキシホム／満岡利夫／奥野府夫／岩崎純士／太田博昭／北本若葉／木村元彦／黒田靖／櫻井明子／長嶋孝／笹野淳／宮平桂子／児玉のどか／宮の台幼稚園丘の上レモネードの会／The Kantoklowns

羽田貞子／横田隆一郎／岡田浩一／吉田快／芹が谷やまゆり／園園長守民夫／駒形真貴子／熊澤美香／高橋恵樹／佐伯トシコ／山田怜／山本茂子／糸永美百合／小林整治／松永孝之・朱美／松尾忠雄／松本隆／沼澤紀子／水戸陽子／浅川富美子／村井淳／太田俊己／谷畑育子／中村泰子／津呂正代／田川尚登／藤井耕介／内田稔／武舎澄江／武川幸子／平出久美子／鈴木喜子／長澤忠／荒井優太／花村昌孝／山田浩貴／大竹裕也

2月…(株)アジアライズジャパン NPO法人H&K／ホンダカーズ神奈川中(株)／伊澤リヨ／萱畑佳代子／岸厚子／駒形真貴子／高尾節子／佐藤庄一朗／山本文子／鹿嶋美由紀／小瀬村芳明／小林整治／松尾忠雄／須藤ナオ／石森眞基子／相川延子／袖山恵子／瀧口秀之／長谷山頌俊／齋藤圭

3月…宇田永治／横浜友の会中方面／下出和治／駒形真貴子／高尾節子／佐伯トシコ／守谷明美／小沢達夫／小林整治／小川猛／千賀子／松尾忠雄／森永乳業(株)／森乳スマイル倶楽部／石川良子／中坪晃一／中嶋洋子／湯川保子／内田稔／藤田真佐江／谷セキヤ／佐助カフエ／唐木誠司／竹内義宣／渡嘉敷知賀代

4月…加藤芳章／児玉洋子／小林整治／太田俊己／福田清一(株)アジアライズジャパン／鈴木仁美／志澤直樹／高尾節子／早川禎子／松尾忠雄／駒形真貴子／堀川浩邦・恵子

誠司／東宮五月／藤木和子／北田将文／麻生敬三／木全重樹／木村裕毅／野口信恵／有田浩美／有田佐智／鈴木有子／齊藤進治

○よこはま夢ファンド
○かながわ県立病院小児医療基金
○公益財団法人小林製薬青い鳥財団
○一般財団法人日本おもちゃ図書館財団

【物品寄付による支援者】
11月…武藤由美子／和田澄子／NPO法人キープ・ママ・スマイルング(株)／横濱屋／NPO川崎市民石けんプラント／近藤寿代／岩根由生子／鈴木ひろ美／草場春美／竹田弘／田中理恵(株)川口／熊谷美智代／外間温子・詩子／土屋雅哉／工藤友子／木戸間裕樹／楽天証券(株)／川端下鞆子／佐藤ペティ／脇信恵(株)柴橋商会／古屋／香島寛孝

12月…武藤由美子／丹治揚子／長谷川利夫／NPO法人美輪の会／佐伯トシコ／松川守／真美／匿名／みなのレモネードの会／岡田いず／清水康子／戸田孝子／マテル・インターナショナル(株)／サンズ・オブ・ハワイ(横田基地)／アカンパニール／亀岡大造／久保順・琴村／志田史枝／尾崎千枝子／佐藤恵美／認定NPO法人シャイン・オン・キッズ／匿名／松原昭子／高橋路子／伊藤／戸田孝子／神納智津子／星野友梨子／安保絵里／満岡利夫／塩森芳枝／渡辺京子／木村美奈子／匿名／相良均治／井上秀枝／NPO川崎市民石けんプラント

1月…倉田真実／三浦美奈子／認定NPO法人シャイン・オン・キッズ／相野谷由紀／NPO法人キープ・ママ・スマイルング／坂井匠子／上田／沼澤紀子／中山文幸

2月…小原淳／大塚民枝／匿名／花王(株)社会貢献部／田村沙織／菅洋子／瀬戸島千枝子／鈴木喜子／菓子工房エヴァン

3月…井上秀枝／佐藤恵美／NPO法人チャリティーサタ／小嶋和佳子／戸田孝子／ZPO法人キープ・ママ・スマイルング／菓子工房エヴァン(株)アジ

アンライズジャパン／星野友梨子／守谷明美／浅川富美子／草場春美／今津裕光／大野誉宜／NPO法人チャリティーサタ／岩井コスモ証券(株)／匿名

4月…木村美奈子／小西陽子／外間温子／星野友梨子／橋本和憲／みなのレモネードの会／野田マキコ／戸田孝子／鈴木明子／落合

その他の支援
◇FANCL様…社員の皆様による「もっ」と何かできるはず基金」より継続寄付をいただきました。
◇毎日新聞東京社会事業団様…「小児がん征圧募金」の一部を活動助成金としていただきました。
◇日本フィランソロピー協会様…久里浜少年院在院生の皆様が育てたミニ胡蝶蘭を寄贈いただきました。
◇荏原花園様(港北区高田町)…パンジー・ピオラなどの花苗をご寄付いただきました。
◇(株)東横商事様…月に2回、食品・消耗品の提供をいただいています。(ミネラルウォーター1728本・レトルト食品100食・カップ麺144食・カッププミそ汁84食・カップスープ156食)◇フードバンクかながわ様…たくさんの食材をいただきました。
◇イオンリテール(株)様…毎月11日の幸せの黄色いレシートキャンペーンにて、お買い上げ金額の1%をご寄付いただきました。

◇ちあふあみ!…医療センタースタッフ有志による小児がんの子どもを地域で応援するプロジェクト。ボランティア活動への協力や物品寄付など様々なお力をいただいています。
◇リライのいえボランティア・保育士より、日用品・食材・お花などを提供いただいています。

ご寄付をお振込いただいた支援者様には礼状と領収証をお送りしておりますが、ご不要の場合は、振込用紙に「領収証不要」とご記入下さい。会報のご寄付一覧にはお名前を掲載させていただきます。

■リラのいえ・利用状況(2022年11月～2023年3月)

月	11月	12月	1月	2月	3月
家族数	22	30	34	28	21
宿泊者(利用者数)	333	333	402	317	237
稼働率(%)	68.3	71.6	82.9	86.4	53.9

■きょうだい児預かり保育・利用状況(2022年11月～2023年3月)

月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	66	78	91	98	101
時間	176.5	212.5	272.5	284.5	275.0

■各種会議開催報告

スマイルオブキッズ理事会(2か月に1回)／子ども医療センター・滞在施設運営会議(月1回)／きょうだい児支援連絡会(3か月に1回)／スマイルオブキッズ運営会議(月1回)／リラの会(月1回)／保育話し合い(月1回)

*その他、リラの丘プロジェクトチーム・ミールサポートチーム・データ入力チームなど、ボランティアさんの得意を活かせるグループで話し合い、活動を進めています。

■活動予定(2023年5月～2023年10月)

5月6日・7日 第14回「地域がささえるふれあいコンサート」 横浜ラポール

5月27日 リラのいえ開設15周年記念式典

10月22日 リラのいえバザー *バザー用品のご提供をお願い致します

(消耗品・バスタオル他雑貨・衣類(すべて新品・未使用)・食品(期限内)・手づくり品)

*今年度のきょうだい児支援シンポジウムは11月以降、チャリティーコンサートは、2024年1月に予定しています。

支援サポートのお願い

(賛助金・寄付金には税額控除が受けられます)

【リラのいえ運営・保育・音楽支援事業のための募金口座】

ゆうちょ銀行振替払込口座番号：00250-0-113817

他金融機関からの振込口座番号：店名／029 口座番号／(当座)0113817

加入者名：NPO 法人 スマイルオブキッズ

◇正会員(年会費1口1,000円×3口以上)：

法人の目的に賛同する会員。法人の社員となり総会の議決権があります。

◇賛助会員(年会費1口5,000円)：事業を賛助する会員。サポート会員とも言います。

◇寄付：いつでも、おいくらからでも受け付けております。

◇遺贈についてのご相談も継続して承っております。



寄付のクレジットカード決済はこちらより行えます。

【クレジットカード決済によるご寄付の受付も始めました】

クレジットカードを利用してご寄付いただけます。右記QRコードにアクセスしてください。

◇マンスリーサポーター「愛する子ども達おうえん団」：寄付頻度「毎月」を選択すると、毎月500円から継続的にご支援いただけます。初回の入金確認後、「団員証」を郵送致します。

◇マンスリーサポーター限定、メルマガ配信中です。

◇「今回のみ」のご寄付も受け付けています。

【物品寄付のサポート】

◇施設で使用する物品の提供(生活消耗品、期限内の食品、未使用の切手など)

【労力・時間を提供するサポート】

◇施設内外の管理・環境整備(草取り・お花の手入れ等)

◇専門技術の提供(ヘアカット・料理・バザーの手づくり品)

○スマイルオブキッズ HP <https://www.smileofkids.jp/>

○Facebook・Twitterでも最新情報をお届けしています！



@ smileofkids @ lilanoie



会報発行者：認定特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ

〒232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川4丁目1124-2 電話・FAX：045-824-6014
<https://www.smileofkids.jp/> e-mail：toiawase@smileofkids.jp / 編集担当：(株) ユック舎